

「iPS 細胞を用いた神経変性疾患の病態解明研究」に関する情報公開

当センターでは、東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方を対象に下記の共同研究を実施します。

本研究への協力を望まれない場合、あるいは研究の詳細についてお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ担当者までご連絡ください。

●研究の名称

iPS 細胞を用いた神経変性疾患の病態解明研究

●研究責任者

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク 齊藤祐子

●研究の対象

2001 年 7 月～2022 年 7 月に東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方の内、病理診断によりアルツハイマー病、前頭側頭葉変性症、ALS、パーキンソン病関連疾患、FXTAS 等のリピーター病、色素性乾皮症等を含む神経変性疾患と患断された方および顕著な神経疾患なしと診断された方。

●研究の期間

倫理委員会承認後から 2026 年 3 月まで

●研究の目的と概要

アルツハイマー病などの認知症をはじめとする神経変性疾患は、神経細胞やグリア細胞が障害を受けて発症する疾患ですが、根本的な治療法はまだ見つかっていません。原因の一部は同定されていますが不明な点も多く、治療法開発に向けてさらなる病態の解明が必要とされています。本研究では、ヒト iPS 細胞から分化誘導した細胞を用いて病態に関連すると予測される分子を同定し、それが実際のヒト脳病理においてどのような発現・分布を呈するかを検討することで、科学的検証を行います。

●研究の方法

健常人および神経変性疾患患者由来の iPS 細胞から、大脳皮質神経を含む神経系細胞を用いた分化誘導を行い、疾患関連タンパク質の発現解析、神経細胞の電気活動などの表現型解析、トランスクリプトームの比較などを行い、疾患関連遺伝子を同定します。同定された病態関連分子について、剖検脳試料を用いて、トランスクリプトームやシングルセル解析などを行い、発現や分布状況を解析します。研究成果は、学会発表、学術雑誌、公開データベースなどで公表いたします。その際は、個人を特定できないようにして公表いたします。

●研究に使用する試料・情報

アルツハイマー病、前頭側頭葉変性症、ALS、パーキンソン病関連疾患、FXTAS などのリピート病、色素性乾皮症等を含む神経変性疾患及び健常者の脳（大脳皮質など） 20例
それに付随する臨床情報、病理情報

●研究組織

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク 齊藤 祐子
村山 繁雄
京都大学 iPS 細胞研究所 増殖分化機構研究部門 井上 治久

●お問い合わせへの対応

本研究に関するご質問や資料閲覧のご希望は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

研究計画書や研究方法に関する資料については、ご遺族の希望に応じて、他の研究対象者や研究者に不利益が及ばない範囲内で、ご覧になることができます。また、研究への協力撤回を表明された場合は、速やかに研究での利用を停止いたします。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることはありません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なお対応ができない場合がありますことをご了承ください。

●問い合わせ先

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号
東京都健康長寿医療センター
高齢者ブレインバンク/神経病理 齊藤祐子（研究責任者）
電話 03-3964-3241 内線 4419（平日 9:00~17:00）